

「高校生のための学びの基礎診断」への申請について

2018年 6月 27日

①事業者名	株式会社ベネッセコーポレーション					
②測定ツール名	『Literas 論理言語力検定』（『語彙・読解力検定』の後継検定。商標登録申請中）3級					
③主な対象者	実生活で生きて働き、各教科の学習の基本となる語彙力・読解力・聴解力などの言語能力を身につけさせたい、高校1年生～3年生					
④対象教科	国語	数学	英語	⑤測定内容の区分	基本タイプ	標準タイプ
	○				○	
⑥申請する測定ツールの目的・概要	<p>【目的】 教科の国語をベースとしながら、実生活で生きて働き、各教科の学習の基本となる言語能力を、育成・測定します。</p> <p>【概要】 以下の3領域で測定（級認定）する検定ですが、国語の学習指導要領に対応した「語彙運用力」「情報理解力（聴解・読解）」の2領域でPDCAを回して国語の授業改善に生かせるようにすることで、「学びの基礎診断」へ申請します（以下、申請書では原則2領域に関する部分について記載し、3領域に関わる部分は注記を入れます）。なお、受検は3領域で行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理的思考の基盤となる「語彙運用力」 ・実社会においてさまざまな情報を理解するための「情報理解力（聴解・読解）」 ・視野を広げ、社会課題を理解するための「社会理解力」 <p>3級では特に、実生活で的確に伝え合うための語彙力や、日常生活に関連した身近な話題を的確に聴解・読解して正しく理解する力を育成・測定します。</p>					
⑦申請する測定ツールの特長・活用例等	<p>【特長・活用例】 特に国語の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に関する資質・能力の育成とその測定ツールとして活用できます。</p> <p>【P】事前に教師は、該当学年の生徒の状態目標設定を行います。 生徒は、検定独自のCAN-DOリストから自らの目指す姿の目標設定を行います。</p> <p>【D】国語の授業と併せて、語彙力・読解力・聴解力に特化した教材で学習します。</p> <p>【C】検定を受検し、結果を確認します。</p> <p>【A】教師は、団体成績表から、生徒の現状を把握し、授業改善につなげます。 生徒は、自己採点をして内容を振り返るとともに、受検結果返却時に自分の学習の成果や課題を認識し、改善につなげます。</p> <p>※検定として公的な資格となるので、推薦・AOなどの大学入試における級の合格結果の活用や多面的総合的評価の1つとして利用することが可能です。</p>					
⑧実施期間、年間実施回数	<p>【実施期間】11月の規定日 【年間実施回数】年1回 ※級認定を行う検定回は上記のとおりです。検定実施日以降も、級認定を行わない学校内のアセスメントとして、学校の希望する時期に実施可能です。（2019年度の実施月は12月・1月・2月。以降、毎年4・5・6・7・9・10・12・1・2月に予定です。）</p>					
⑨実施方式（CBT/PBT）	PBT					
⑩試験時間（分）	国語	数学	英語			
	50分 ※「社会理解力」を含む、3領域での時間です。					
⑪受検料	<p>【検定】3級：2,250円 ※消費税等込 【教材】450円 ※消費税等込 ※できるだけ、【検定】と【教材】をセットで使用することをお勧めします。</p>					
⑫標準返却期間	実施後約1か月					
⑬URL（事業者のHPにおける測定ツール紹介）	<p>2018年6月末まで：『語彙・読解力検定』公式サイト（http://www.goi-dokkai.jp/） ※2019年度より『語彙・読解力検定』自体の大幅改訂を予定しています。サイトは改訂前のものです。 2018年7月以降：『Literas 論理言語力検定』（商標登録申請中）公式サイト設置予定です。 （http://literas.benesse.ne.jp）</p>					

(様式2)

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:『Literas 論理言語力検定』『語彙・読解力検定』の後継検定。商標登録申請中)3級

対象教科:国語

測定内容の区分:基本タイプ

※3領域で測定(級認定)する検定ですが、国語の学習指導要領に対応した「語彙運用力」「情報理解力(聴解・読解)」の2領域で「学びの基礎診断」へ申請します(以下、申請書では原則2領域に関する部分について記載し、3領域に関わる部分は注記を入れます)。なお、受検は3領域で行います。

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

- 主な対象者:実生活で生きて働き、各教科の学習の基本となる語彙力・読解力・聴解力などの言語能力を身につけさせたい、高校1年生～3年生
- 測定しようとする資質・能力:「話すこと・聞くこと」に関する資質・能力、「書くこと」に関する資質・能力、「読むこと」に関する資質・能力等
- 出題範囲:3級:中学校「国語」と、高等学校「国語」の「国語総合」
- 主として知識・技能を問う問題の出題方針:「語彙運用力」領域
⇒「語彙運用力」は、実生活の中で、相手や目的に応じて語彙を選び、的確に伝え合うことができるかを測ります。
- 主として思考力・判断力・表現力等を問う問題の出題方針:「情報理解力(聴解・読解)」領域
⇒「聴解」は、ニュースや会話文を的確に聞き取り、内容や状況を理解することができるかを測ります。
「読解」は、複数の連続・非連続テキストについて、関連付けや比較をしながら的確に読み取ることができるか、また、条件に従ってテキストと付加情報を関連付けた内容を記述することができるかを測ります。
- 学習指導要領との対応:[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項][A 話すこと 聞くこと][B 書くこと][C 読むこと](別添 様式4に詳細)
- 難易度:3級:中学校卒業時に身につけておきたい資質・能力レベル

(2)構成等

①出題形式

選択式、記述式。

記述式は「読解」で1小問出題します(3級:30～50字程度)。

「聴解」は、音声CDで音声を流し、選択式の設定問に解答します。

②出題範囲

・高等学校段階の学習内容と義務教育段階の学習内容とのバランス:

3級:主として義務教育段階の学習内容を出題し、高等学校段階の学習内容を一部含みます。

- ・各領域のバランス：
「語彙運用力」：18 問程度
「情報理解力」：聴解 2 大問（10 問程度）、読解 2 大問（8 問程度）

(3) 難易度設定の考え方・方法

あらかじめ、難易度の基準となる「基準テスト」や、評価尺度・級の合格基準等を、調査をもとに作成します。その作成した基準に照らして、毎年、問題事前調査を行い、出題要件に基づき作成した問題がめざす難易度になっているかを確認します。

(4) 基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・日常的に触れる機会の多い素材を用いて問題を作成します。
 - ・文章のみではなく、聴解分野で音声も用いることで興味・関心を引き出す問題を作成します。
- 3 級：
- ・就職後の社会生活の場面を意識させる問題を設定します。
 - ・義務教育レベルの問題を中心とし育成教材とも連動させることにより、「やればできる」という成功体験をもたせ、学習意欲・学習習慣づけにつながる状態にします。

(5) その他特長

- ・検定回以外でも、級認定を行わないアセスメントとしての実施回を、学校の希望する時期にいつでも受検可能です（4・5・6・7・9・10・12・1・2 月を予定）。最新の検定回で使用した問題を用いて実施します。
- ・検定として公的な資格となるので、推薦・A0 などの大学入試における級の合格結果の活用や多面的総合的評価の 1 つとして利用することが可能です。

II. 結果提供に関すること

(1) 受検者個人への結果提供内容・方法

○片面で「学びの基礎診断」（国語）としての診断結果が分かりやすいように「語彙運用力」「情報理解力」の 2 領域、片面で「社会理解力」を含む 3 領域の成績を表示します。
（級認定は 3 領域の面に表示します）

○成績に関する下記項目について、紙媒体 1 枚（両面）で学校を通じて返却します。

< 結果提供項目 >

- ①認定級 ②総合スコア ③各領域のスコア ④総合メッセージ ⑤観点別正解率
- ⑥分野別正解率 ⑦学習アドバイス ⑧受検時のアンケート回答結果 ⑨設問別正誤

< 個別の内容 >

- ①認定級：総合スコアから判定した結果として、認定した正級、準級、もしくは不合格を示します。
- ②総合スコア：測定範囲の中での自分の位置を確認できます。また、前回受検した際の位置も示すことで、学力の定着度合の伸びを示します。Can Do リスト（「~できる」の記述文による到達段階）も提示することで、何ができるかの目安を示します。
- ③各領域のスコア：領域別の測定範囲の中での自分の位置を確認できます。また、前回と比較して伸びている場合は、その旨を表示します。

- ④総合メッセージ：総合スコア・各領域のスコアをもとにして、何が得意なのかを示し、褒めて励ますメッセージを示します。
- ⑤観点別正解率：「情報理解力」領域で測定する3つの観点別に、正解率を確認できます。
- ⑥分野別正解率：各領域の下位項目である分野別に、正解率を確認できます。
- ⑦学習アドバイス：各領域で身につけている力と活用場面、今後どのような点を意識して学習するとよいかのアドバイスを示します。
- ⑧受検時のアンケート回答結果：受検時に回答した、言語能力向上につながる主体性に関するアンケートの回答結果を示します。
- ⑨設問別正誤：各設問の正誤判定結果を示します。

(2) 学校等への結果提供内容・方法

- 団体成績表をPDFデータ（一部CSV）にてⅡ（1）と同時期に学校専用WEB成績システム（登録無料）で提供します。
- 下記、＜結果提供項目＞の②「団体結果」で、「学びの基礎診断」申請の「語彙運用力」「情報理解力」の2領域と、「社会理解力」を含む3領域とを分けて総合成績を表示します。

＜結果提供項目＞

- ①受検者個人成績結果一覧 ②団体結果 ③設問別クラス別正解率
- ④受検時のアンケート回答結果一覧

＜個別の内容＞

- ①受検者個人成績結果一覧：個人別の成績が一覧で確認できるとともに、前回受検した時から成績が伸びた生徒を確認することができます。当年度と過去2年分の成績を表示します。
- ②団体結果：学年・クラス単位で総合的な傾向を把握できます。
- ③設問別クラス別正解率：設問別・クラス別に正解率を確認ことができ、どの設問で生徒がつまづいているのか、クラス別に傾向を確認できます。
- ④受検時のアンケート回答結果一覧：受検時に回答した、言語能力向上につながる主体性に関するアンケートの回答結果を一覧で表示します。

(3) 試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

- 結果表示方法：級ごとに、めざす到達度を2段階で設定し、1段階目をクリアすると「準級」、2段階目をクリアすると「正級」として認定します。1段階目をクリアできなかった場合は不合格となります。
 - ※級認定は、「社会理解力」を含む3領域の合計スコアで認定します。
 - ※各段階の到達度については、言語能力向上につながる主体性に関するアンケートと問題事前調査の結果を総合的に分析して作成したCan Doリストをもとに設定します。
- 結果表示の算出方法と分析手法：
 - 現在、計3回の問題事前調査の分析等を踏まえ、ベネッセ教育総合研究所アセスメント・教材研究開発室の協力のもと、評価方法を検討中です。
 - 「基準テスト」と「本番テスト」の両方を、あらかじめ受検者と同レベルの集団に問題事前調査として解答してもらい、「本番テスト」の素点を「基準テスト」の素点の尺度に等化しておくことによって、過回とのスコアの比較を可能にします。
 - 「基準テスト」として、IRTに基づいて作成したマスターテストを用いる、あるいは、級ごとに本番初回に実施するテストを基準とする方式のいずれかを検討しており、今後の分析によって決定します。前者の場合は、級ごとだけでなく、級をまたいだスコアの比較も可能になります。

Ⅲ. 運営に関すること

(1) 問題の質を確保するための方法

- 出題内容の妥当性：中学・高校の国語の学習指導要領に沿って、測定する力とその問い方等を難易度別に設定した出題要件に基づいて、作問を行っています。
- 信頼性：対象レベルの生徒のべ 5000 人程度に 3 回の問題事前調査を行った結果の基礎分析から、問題精度、難易度や解答時間の適正さ等を確認して評価軸の基準を作成します。その後、毎年作成する問題については、難易度が担保されているかどうかを問題事前調査で確認して、妥当な問題セットを本番の出題とします。
- 作問の体制・方法：いずれの領域も、複数名による「問題審査会議」や、吟味スタッフによるチェックを経て問題の完成度を高めます。
「語彙運用力」：教科書・大学入試・一般書籍などを分析し、中高生に押さえてほしい語彙リストを出題範囲として設定して、その中から出題します。
「情報理解力（聴解・読解）」：問題事前調査の分析に基づいた作問要件として、難易度や形式、測定する力などを設定し、それらを踏まえて出題します。

(2) 学校における実施方法

- 実施マニュアルの整備や、問い合わせ対応（電話受付体制・営業担当者）も行い、負担がかからない支援体制を構築します。
- 学校単位、学年単位、クラス単位、希望者単位など、実状に応じて受検することが可能です。
- 学校には、以下①～④を行っていただきます。
 - ①検定実施日までに検定料の送金
 - ②送付物（実施資材）の内容確認【問題冊子、解答用紙、聴解問題用音声 CD、受検者集計表、「実施の手引き」、返送用小物類】
 - ③当日の試験監督（事前説明と聴解の CD 再生、回収など）
 - ④実施後の解答用紙の回収・発送

(3) 採点の方法と体制

- ベネッセでは、採点ガイドラインに基づき、採点結果の信頼性の向上、採点の合理化、迅速化を図るため、種々の取組を実施しています。具体的には、記述式の問題の採点については、熟練した採点者が教科・問題単位で専任制のもと採点基準に則り採点を行います。採点者は、学力と採点適性を見極めるための試験に合格し、年間を通じて研修や、実際の採点経験の中で様々なトレーニングを受け、採点スキルの向上を図ります。また、採点結果の信頼性の向上のため、定期的なサンプリング調査や個別のフィードバックを実施しています。加えて採点の合理化・迅速化に向け、答案のデジタル化による分割採点を実施しています。

(4)情報管理体制

セキュリティ

- ベネッセは、ISO27001（情報セキュリティマネジメント）、JISQ15001（Pマーク）の認定を取得しています。各規格の要求事項を踏まえ、業務の構築・運用設計を行い、機密情報や個人情報に関する破損・紛失・漏えいリスクの低減や回避を図ります。

全体では、以下の観点でセキュリティ施策を実施します。

観点	概要
A. 人に関する施策	(1)ベネッセグループのセキュリティ規程研修の実施 (2)機密(個人)情報取り扱い各種ルールの遵守
B. 場所に関する施策	(1)ゾーニング施策によるセキュリティ水準確保 ①関係者以外の侵入防止と入退出管理・履歴取得 ②災害対策 ③情報隔離・持ち出し防止 ④保管・廃棄時の安全性確保 (2)拠点の設備・運用の安全性の確認
C. 工程に関する施策	(1)各工程で個別に配慮すべき施策内容・留意事項の確認 ①情報の取得(生成)時 ②情報の利用時 ③情報保管期間内 ④情報の移送(送信)時 ⑤情報の廃棄(消去)時
D. 電子的情報に関する施策	ベネッセのセキュリティ基準に準じ、使用する情報機器のセキュリティ対策
E. 業務システムに関する施策	ベネッセのセキュリティ基準に則り、セキュリティ施策を実施

緊急事態や不測の事態への対応

- 緊急事態や不測の事態へ対応するため、発生時の報告・連絡・相談体制をあらかじめ構築します。
- 事故・障害発生時に備えて、あらかじめ担当メンバーの緊急連絡網を作成し、重大事案発生時には速やかに事業推進責任者に報告を行い、対応の判断・指示をすることで、的確かつ迅速に対応し、影響を最小限に抑える体制を準備します。

IV. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

○視覚障害のある受検者への配慮

受検校のご要望を受け、一部資料の拡大コピーを認めます。

○聴覚障害のある受検者への配慮

聴解問題の実施に際し、音声と同じスク립トを提供します。

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

※「社会理解力」を含む3領域でのご用意です。

○事前学習教材

①マスターブック（仮称）【別売】※検定とセットで使用することをお勧めします。

- ・1回約10分で完結できる育成教材です。
- ・生徒の興味を引き出す導入と、スモールステップでのワークで構成します。

②マスターブック（仮称）補助プリント【無料】

- ・①の復習用に、無料でプリントを提供します。
- ・ベネッセ提供の学校専用サイトよりダウンロードできます。

○事後学習教材

出題の振り返りと復習ができる冊子を提供します。

(3) 学習状況等のアンケートの有無、内容

○検定受検者の言語能力向上につながる主体性に関するアンケートの実施

- ・言語能力向上につながる、日常や学校生活における意識や心がけの質問内容を受検の解答直前に実施します。
- ・アンケート項目は、事前調査で50項目程度の質問項目を因子分析し、「社会理解力」を含む3領域の成績と相関の高い質問項目のなかから、10項目程度を利用します。
- ・Ⅱ（1）（2）で回答状況をフィードバックします。

(4) 個人受検の可否

○個人受検はできません。

(5) 問題内容の情報提供

○問題返却・解答解説の提供を行います。ただし、検定回は公平性を重視するため、実施日翌日以降に提供します。

(6) その他

(様式3)

認定要件への適合性を示す書類等一覧について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:『Literas 論理言語力検定』(『語彙・読解力検定』の後継検定。商標登録申請中)3級

対象教科:国語

測定内容の区分:基本タイプ

I. 出題に関すること

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準				
			I. (1)	I. (2)	I. (3)	I. (4)	I. (5)

II. 結果提供に関すること

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準	
			II. (1)	II. (2)
受検者個人への結果提供内容	受検結果	資料1	○	
学校等への結果提供内容	団体成績表	資料2		○

III. 運営に関すること

<提出必須の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号
実施要項(試験時間、実施方式、実施期間、受検料、標準返却期間等)	実施案内書	資料3
学校用実施マニュアル	実施の手引き 試験監督先生用マニュアル	資料4 資料5

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号

IV. 情報開示に関すること

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号

Literas

参考見本

検定実施日は現在検討中のため変わることがあります。

論理言語力検定

2019年度のご案内

	学校申し込み(準会場)
実施(受検)形態	学校でご実施
検定実施日	11月1日(金)、11月2日(土) のいずれか1日 上記日程では合わない場合はお問い合わせください。
お申し込み方法	学校で取りまとめ、Webか電話でお申し込み
お申し込み締切日	10月18日(金)
受検結果発送予定日	12月上旬
受検結果送付先	学校
備考	* 受検結果は学校にまとめてお送りいたします。 * 学校単位で受検結果をまとめたデータをBenesse High School Online内のインターネットフォルダ上でご提供いたします。



TEL:0120-350455

通話料無料

受付時間/月~金 8:00~19:00 土 8:00~17:00(祝日、年末・年始を除く)

Literasの特長

- 基本的な語彙力・読解力を身につけることで、基礎学力を底上げし、出口(就職・進学)に役立つ力を身につけることができる。
- 学びを通して「やればできる」成功体験をもて、学習意欲・学習習慣づけができ、社会に参画するための言語能力が身につけられる。
- 論理的思考の基盤となる語彙力、社会知識・情報理解力を身につけることで、希望進路の実現に役立つ力を身につけることができる。
- 学びを通して社会課題への知識・理解を深め、社会に積極的に参画する姿勢と社会で活躍するための言語能力を身につけられる。

実施概要

級と 検定時間

級	2 級	3 級
検定時間	50分 最初の13分はリスニング	50分 最初の11分はリスニング

※上記以外に受検説明やアンケート記入などに10～15分程度必要です。

測定 レベル

級	2 級	3 級
特長	論理的文章の理解・ アウトプットにつながる語彙力や 社会課題につながるテーマを 的確に聴解・読解する力を測定。	実生活での確に 伝え合うための語彙力や 日常生活に関連した身近な話題を 的確に聴解・読解する力を測定。

出題領域



検定料

級	2 級	3 級
検定料 (税込)	2,650円	2,250円

お申し込みの流れ

1

●学校で取りまとめ

団体責任者の先生がお申し込みください。

2

●団体受検規約確認

準会場実施では団体受検規約にご同意いただくことが必要です。

3

●検定実施日決定

11/1(金)・11/2(土)のいずれか1日をご指定ください。
2日に分けての実施はできません。

4

●受検級・人数決定

団体受検規約に同意のうえ、Webかお電話でお申し込みください。
申し込み締切日：**10月18日(金)**

5

●お申し込み

Benesse High School Online◆URL⇒ <http://www.bhso.ne.jp>

ベネッセコーポレーションお客様サービスセンター◆TEL⇒ **0120-350455** (通話料無料)
受付時間/月～金8:00～19:00 土8:00～17:00(祝日、年末・年始を除く)

6

●検定料のお支払い

お申し込み人数で検定実施日までにお振込みください。

7

●検定実施

実施の流れをご確認ください。(P.3)

実施前

検定実施日までに、検定料をご送金ください。

- この冊子に同封の弊社指定の払込取扱票に必要事項をご記入のうえ、検定実施日までに郵便局よりご送金ください(手数料検定事務局負担)。お支払いは「お申し込み人数」でお願いいたします。
- 払込取扱票には、今回お申し込みになる検定の「受検級」と「お申し込み人数」も必ずご記入ください。
- 郵便局がお渡りする振替払込請求書兼受領証は貴校の控えとなりますので、大切に保管してください。
- 一旦ご送金いただいた検定料は返金できません。欠席者・失格者・棄権者にも返金できません。ただし「特別返金制度」で定めた返金対象となる欠席理由に該当する場合は除きます。

02 広島		払込取扱票		通常払込料金を加入者負担	
012506	5100	金額	665600	振替払込請求書兼受領証	
株式会社ベネッセコーポレーション		金額		株式会社ベネッセコーポレーション	
商品・教材名: Litemo 英語検定 2級 学生(第1回)分		金額: 2,650円 × 89名 = 計 235,850円		金額	
商品・教材名: Litemo 英語検定 3級 学生(第1回)分		金額: 2,250円 × 191名 = 計 429,750円		金額	
合計		665,600円		金額	
おとこま (郵便番号) 700-8686		〒		012506	
岡山府北区南方3-7-17		日		5100	
〇〇高等学校		様		株式会社ベネッセコーポレーション	
電話番号 086-221-XXXX		日		665600	
		印		〇〇高等学校	

▲払込取扱票記入例

- ### 「特別返金制度」について
- 次の場合には、所定の手続きにより、既にお支払い済みの検定料をご返金いたします。
11月29日(金)までに申請書の提出が必要となりますので、該当者がいる場合は「お客様サービスセンター」までご連絡ください。
- ①忌引き(親等、日数の適用範囲は学校・団体の定める基準に準ずる)
 - ②公式大会への出場(大会主催者が国、地方団体、および全国的に組織された団体で、且つ、該当者が大会申込団体の代表選手としてその大会に出場する場合)
 - ③進級・進学・就職要件となる実習や試験など(その試験・授業・実習に参加しなければ、進級・進学・就職できない場合)
 - ④学校保健安全法施行規則に定められている感染症での学級閉鎖・学校閉鎖(ただし個人の出席停止には適応されない)
 - ⑤公共交通機関の途絶や遅延
 - ⑥疾病その他の理由による長期休学
 - ⑦受検申込後の転校・退学

受検資料 お届け

10月28日(月)までに、問題等の受検用資料をお届けします。内容をご確認ください。

- 送付物 ●問題冊子 ●解答用紙(マークシート) ●受検者集計表
●「実施の手引き」 ●返送用小物類 ●リスニング問題CD
- 問題冊子および解答用紙(マークシート)は受検者1名につき1部必要です。お申し込み級の問題冊子および解答用紙(マークシート)が必要部数届いていることをご確認ください。
 - 予備はお申し込み20名につき1セットの割合でお届けします。
 - 10月29日(火)までに届かない場合、部数に不足があった場合には、お手数ですが、ベネッセコーポレーション内「お客様サービスセンター」へ至急お電話ください。

実施当日

11月1日(金)、11月2日(土)、のいずれか1日でご実施ください。

- 最初にリスニングテストを行ってください。リスニングテスト終了後、中断せず続けて検定を実施してください。
- 検定の規定時間(50分)のほか、受検説明やアンケート記入などに10~15分程度必要です。
- 解答用紙(マークシート)は予備も含めてすべて回収させていただきます。

回収日

11月5日(火)に、解答用紙(マークシート)を発送してください。

- 団体責任者の方は、予備を含むすべての解答用紙(マークシート)を「実施の手引き」に従って梱包・発送してください。
- 回収手配はベネッセコーポレーションにて行います。
- 原則として、回収日の変更はできませんので、予めご了承ください。



11月9日頃までに、「解答解説冊子」をお届けします。

- 「解答解説冊子」は出題内容を振り返り、間違えた問題を正しく理解するための教材です。



▲解答解説冊子

12月上旬発送予定で、検定結果をお届けします。

【生徒用】「受検結果通知」、「合格認定証」(合格者のみ)

【教師用】「団体結果データ」

Benesse High School Online内のインターネットフォルダ上でご提供

- 団体結果データ
- 1.個人成績結果一覧
 - 2.団体結果概要
 - 3.団体結果スコア割合
 - 4.設問別結果詳細
 - 5.アンケート結果一覧



▲受検結果通知



▲合格認定証

学校申し込み(準会場)実施 申し込み締切日：10月18日(金)

お申し込み
Web

Benesse High School Online

URL <http://www.bhso.ne.jp>

※Benesse High School Onlineのご利用には、ID・ログインコード／パスワードが必要です。

<ID・ログインコード／パスワードに関するお問い合わせ先>

Webサポートデスク 0120-350124(通話料無料)

受付時間／月～金 8:00～19:00 土 8:00～17:00(祝日、年末年始を除く)

お申し込み
お問い合わせ
お電話

ベネッセコーポレーション内「お客様サービスセンター」へお電話ください。

TEL:0120-350455 通話料無料

受付時間／月～金 8:00～19:00 土 8:00～17:00(祝日、年末・年始を除く)

<株式会社ベネッセコーポレーションの個人情報の利用目的・取扱いについて>

本サービスでは、各学校・団体における本サービスの利用に際してご提供いただく受検者の個人情報を、受検結果の成績処理、受検結果通知および合格認定証、合格証明書の発行・発送の目的で利用します。また、ご提供いただいた情報を、個人が特定できない形式に匿名化し、弊社が保有する他の情報と併せて統計処理したうえで、本サービス結果の各種統計およびマーケティング基礎資料、販売資料、本サービス開発のためのデータとして利用することがあります。

これら基礎資料やデータには、個人を特定できる情報は一切掲載されませんので、ご安心ください。

なお、個人情報は各学校・団体および受検者の意思に基づきご提供いただくものとなりますが、不足がある場合弊社からの商品サービスの提供が行えないことがありますので、あらかじめご了承ください。

弊社は本サービスの目的の範囲内で、個人情報の取り扱いの全部または一部を、自らの責任と負担において第三者に業務委託することがありますが、その場合には、当該第三者との間に委託契約書を交わし適切な管理をいたします。このような業務委託および法令の定めによる場合を除き、ご提供いただいた個人情報を、事前の同意なく第三者に提供することはありません。また、毎年の検定結果の総括、検定開発および合格証明書の発行の目的で一定期間、受検者の個人情報を保管いたしますが、その情報の取扱いにつきましては必要かつ適切な措置を講じて万全の配慮を行います。

(株)ベネッセコーポレーション CPO(個人情報保護最高責任者)

個人情報の取り扱いおよび管理についてのお問い合わせは、お客様サービスセンター((株)ベネッセコーポレーション内)にて承ります。

0120-350455(通話料無料) 受付時間／(祝日、年末年始を除く) 月～金8:00～19:00 土8:00～17:00

〒700-8686岡山県岡山市北区南方3-7-17

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:『Literas 論理言語力検定』(『語彙・読解力検定』の後継検定。商標登録申請中) 3級

対象教科:国語

測定内容の区分:基本タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式 等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>【語彙運用力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実生活の中で、<u>相手や目的に応じて語彙を選び、的確に伝え合うことができる。</u> ・実生活での活用度は高いが、高校生にとってはなじみの薄い<u>漢語を中心に、外来語・実用的な慣用句などの意味や用法などを理解できる。</u>(教科書・大学入試・一般書籍などを分析し、中高生に押さえてほしい語彙をリスト化。その中から、中学校の教科書で初出の語を中心に扱う。) 	<p>【設問数】 18 問程度</p> <p>【出題形式】 選択式(下線部の言い換え、短文での空欄補充 4 肢 1 択)</p> <p>サンプル問題 1(1) ～ (4)</p>	<p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>中学校学習指導要領 国語〔第 1 学年〕 2 [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] (1) イ 言葉の特徴やきまりに関する事項 (イ) 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語感を磨くこと。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第 2 学年〕 2 [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] (1) イ 言葉の特徴やきまりに関する事項 (イ) 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (エ) 単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意すること。 (オ) 相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開に違いがあることを理解すること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第 3 学年〕 2 [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] (1) イ 言葉の特徴やきまりに関する事項 (イ) 慣用句・四字熟語などに関する知識を広げ、和語・漢語・外来語などの使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>国語総合 2 [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] (1) イ 言葉の特徴やきまりに関する事項 (イ) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。 (イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p>

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>【情報理解力（聴解）】</p> <p>・ <u>高校生の日常生活に関連した身近な話題に関するニュース・会話文について、1)～3) ができる。</u></p> <p><u>1) 情報を正確に聞き取ることができる。</u></p> <p><u>2) 聞き取った情報と、読み取った情報を関連づけて、情報を的確に理解することができる。</u></p> <p><u>3) 予測や推論をするなど、聞き取った情報を社会の出来事や自身の経験と結びつけて、吟味・評価することができる。</u></p>	<p>【設問数】 5 問／大問</p> <p>【出題形式】 選択式（4 肢 1 択）</p> <p>※聴解は全部で 2 大問出題。</p> <p>サンプル問題 2 問 1～5</p>	<p>A 話 す こ と ・ 聞 く こ と</p>	<p>中学校学習指導要領 国語〔第 1 学年〕 2A 話すこと・聞くこと (1) エ 必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第 2 学年〕 2A 話すこと・聞くこと (1) エ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較すること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第 3 学年〕 2A 話すこと・聞くこと (1) ウ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。</p> <p>国語総合 2A 話すこと・聞くこと (1) イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式 等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
<p>【情報理解力（読解）】</p> <p>・ <u>高校生の日常生活に関連した身近な話題</u>をテーマにした<u>複数の情報（文章・図表・グラフなど）</u>について、1)～3)ができる。</p> <p>1) <u>多様な情報から、目的や条件に合った情報を取り出すことができる。</u></p> <p>2) <u>読み取った情報を、整理や関連づけ、比較をしながら理解することができる。</u></p> <p>3) <u>予測や推論をするなど、情報を社会の出来事や自身の経験と結びつけて、吟味・評価することができる。</u></p>	<p>【設問数】 3～4問／大問</p> <p>【出題形式】 選択式（4肢1択）</p> <p>※読解は全部で2大問出題。</p> <p>サンプル問題 3問 1～3</p>	<p>C 読 む こ と</p>	<p>中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕 2C 読むこと（1） イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。 カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 2C 読むこと（1） イ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 2C 読むこと（1） イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。 ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。</p> <p>国語総合 2C 読むこと（1） イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式 等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>【情報理解力（読解）】</p> <p>・ <u>条件に従い、本文と付加情報を関連づけた内容を記述することができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問／大問</p> <p>【出題形式】 記述式（30～50 字程度） ※読解は全部で 2 大問出題。うち 1 大問で出題。</p> <p>サンプル問題 3 問 4</p>	B 書 く こ と	<p>中学校学習指導要領 国語〔第 2 学年〕</p> <p>2B 書くこと (1) ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第 3 学年〕</p> <p>2B 書くこと (1) イ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。</p> <p>国語総合</p> <p>2B 書くこと (1) ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。</p>

(様式5)

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:『Literas 論理言語力検定』(『語彙・読解力検定』の後継検定。商標登録申請中) 3級

対象教科:国語

測定内容の区分:基本タイプ

サンプル問題番号(大問番号):1

出題科目	中学校「国語」、「国語総合」																							
出題のポイント	・実生活の中で、相手や目的に応じて語彙を選び、的確に伝え合うことができるかを測定する。 ・実生活での活用度は高いが高校生にとってはなじみの薄い漢語を中心に、外来語・実用的な慣用句などの意味や用法などを理解できているかを測定する。																							
主として問う能力	※小問数が18問程度のため、4小問を抜粋して掲載。 <table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(3)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(4)</td><td>○</td><td></td></tr></tbody></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	(1)	○		(2)	○		(3)	○		(4)	○						
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																						
(1)	○																							
(2)	○																							
(3)	○																							
(4)	○																							
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(3)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(4)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	(1)	○			(2)	○			(3)	○			(4)	○		
小問番号	選択式	短答式	記述式																					
(1)	○																							
(2)	○																							
(3)	○																							
(4)	○																							
サンプル問題	問 下線部を言い換えたものとして最も適当なものを、①～④のうちから一つずつ選びなさい。 (1) SNSの利用がもたらす悪い影響について議論する。 ①弊害 ②妨害 ③侵害 ④迫害 (2) 交通の不便をなくすために、市内をめぐるコミュニティバスを導入する。 ①循環する ②往復する ③巡航する ④回遊する 問 空欄に当てはまる語として最も適当なものを、①～④のうちから一つずつ選びなさい。 (3) 図書館の資料数が十分でないとして、必要な[]を求める。 ①措置 ②処理 ③応対 ④処分 (4) これは明治維新を[]とした小説だ。 ①モチーフ ②オブジェ ③プロット ④フォーカス																							
解答例	(1)～(4)すべて①																							
(参考)学習指導要領の関連項目	〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕 2〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(1) イ 言葉の特徴やきまりに関する事項 (イ) 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語感を磨くこと。 中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 2〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(1) イ 言葉の特徴やきまりに関する事項																							

- (i) 抽象的な概念を表す語句，類義語と対義語，同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し，語感を磨き語彙を豊かにすること。
- (e) 単語の活用について理解し，助詞や助動詞などの働きに注意すること。
- (f) 相手や目的に応じて，話や文章の形態や展開に違いがあることを理解すること。

中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕

2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(1)

イ 言葉の特徴やきまりに関する事項

- (i) 慣用句・四字熟語などに関する知識を広げ，和語・漢語・外来語などの使い分けに注意し，語感を磨き語彙を豊かにすること。

国語総合

2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(1)

イ 言葉の特徴やきまりに関する事項

- (7) 国語における言葉の成り立ち，表現の特色及び言語の役割などを理解すること。
- (i) 文や文章の組立て，語句の意味，用法及び表記の仕方などを理解し，語彙を豊かにすること。

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:『Literas 論理言語力検定』(『語彙・読解力検定』の後継検定。商標登録申請中) 3級
対象教科:国語

測定内容の区分:基本タイプ

サンプル問題番号(大問番号):2

出題科目	中学校「国語」、「国語総合」											
出題のポイント	高校生の日常生活に関連した身近な話題に関するニュース・会話文を正確に聞き取り、聞き取った情報と読み取った情報を関連づけて的確に理解し、吟味・評価する力を測定する。											
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th colspan="2">思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>問1～問5</td><td>○</td><td colspan="2">○</td></tr></tbody></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		問1～問5	○	○	
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等										
問1～問5	○	○										
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>問1～問5</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	問1～問5	○		
小問番号	選択式	短答式	記述式									
問1～問5	○											
サンプル問題	別添「様式5別添1 (3級:聴解サンプル問題)」参照											
解答例	別添「様式5別添1 (3級:聴解サンプル問題)」参照											
(参考)学習指導要領の関連項目	<p>問1 国語総合 2A 話すこと・聞くこと (1) イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。</p> <p>問2 中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕 2A 話すこと・聞くこと (1) エ 必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。</p> <p>問3～4 国語総合 2A 話すこと・聞くこと (1) イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。</p> <p>問5 中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕 2A 話すこと・聞くこと (1) エ 必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。</p>											

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:『Literas 論理言語力検定』(『語彙・読解力検定』の後継検定。商標登録申請中) 3級

対象教科:国語

測定内容の区分:基本タイプ

サンプル問題番号(大問番号):3

出題科目	中学校「国語」、「国語総合」														
出題のポイント	<p>・高校生の日常生活に関連した身近な話題をテーマにした複数の情報(文章・図表・グラフなど)から、目的や条件に合った情報を取り出し、整理や関連づけをしながら理解し、吟味・評価する力を測定する。</p> <p>・条件に従い、本文と付加情報を関連づけた内容を記述する力を測定する。</p>														
主として問う能力	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小問番号</th> <th>知識・技能</th> <th>思考力・判断力・表現力等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>問1～問4</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問1～問4	○	○								
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等													
問1～問4	○	○													
出題形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小問番号</th> <th>選択式</th> <th>短答式</th> <th>記述式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>問1～問3</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>問4</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	問1～問3	○			問4			○		
小問番号	選択式	短答式	記述式												
問1～問3	○														
問4			○												
サンプル問題	別添「様式5別添2 (3級:読解サンプル問題)」参照														
解答例	別添「様式5別添2 (3級:読解サンプル問題)」参照 (解答例+正答条件)														
(参考)学習指導要領の関連項目	<p>問1 中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕 2C 読むこと (1) カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。</p> <p>問2 中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 2C 読むこと (1) イ 文章全体と部分との関係, 例示や描写の効果, 登場人物の言動の意味などを考え, 内容の理解に役立てること。</p> <p>問3 国語総合 2C 読むこと (1) エ 文章の構成や展開を確かめ, 内容や表現の仕方について評価したり, 書き手の意図をとらえたりすること。</p> <p>問4 中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 2 B 書くこと (1) イ 論理の展開を工夫し, 資料を適切に引用するなどして, 説得力のある文章を書くこと。</p>														

2. これから放送する内容は、2018年7月の母親と中学生の大輝の会話です。何について話しているのか注意して放送をよく聞き、後の問いに答えなさい。放送中に、問題用紙の余白を使ってメモをとってもかまいませんが、解答は解答用紙に記入してください。解答はいつ記入してもかまいません。なお、放送は一回のみです。

聴解問題は、本来音声のみで解答するためスクリプトの掲載はありませんが、サンプル問題では、問題難易度をご確認いただくため掲載しています。

【スクリプト】

(大輝) ただいま。ああ煙たかった。

(母) どうかしたの？

(大輝) うっかり駅の喫煙場所の横を通ったら、ちょうど風が吹いてまともに煙を吸い込んだら。

(母) それは大変だったね。今は路上喫煙は禁止の場所が増えてきているから、昔に比べればかなり受動喫煙の機会は減ってきたんだけどね。

(大輝) 他人のたばこの煙を吸い込む受動喫煙が、健康に悪いってことがあちこちで言われるようになったよね。

(母) ニュースで言っていたけど、受動喫煙をすると、肺がんや脳卒中になる危険性が高まると言われていて、日本の受動喫煙による死者は年間1万5千人とも考えられるそうよ。

(大輝) そんなに！

(母) 禁煙の場所も増えて日本の受動喫煙対策は昔よりはるかに進んだとは言っても、他の国に比べると遅れているのよ。

(大輝) そうなの？

(母) 2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、厚生労働省が健康増進法を改正したのは知っている？

(大輝) 聞いたことはあるよ。

(母) 学校や病院などは敷地内禁煙で、飲食店やホテルは原則屋内禁煙としているの。でも、もともとある小さな飲食店は、「喫煙スペース」を作るなどすれば喫煙を認める内容なのよ。

(大輝) その程度ならいいんじゃないの？

(母) これは飲食店全体の55%が喫煙可能になるってことらしいよ。

(大輝) ええ？ それじゃ原則屋内禁煙と言えないんじゃないの？

(母) そうなの。国際オリンピック委員会と世界保健機関は、「たばこのない五輪」を推進していて、それを受けて2010年以降のオリンピック開催地では、罰則付きで飲食店の建物内完全禁煙の規制を実施しているの。かなり厳しいのよ。

(大輝) 「建物内完全禁煙」ってできるのかな。路上喫煙が禁止の場所も多いよね。

(母) 日本は路上喫煙の方を条例などで禁止してきたから、路上も屋内も全て禁煙にしまうと、喫煙する人たちの自由を奪う可能性があって、屋内禁煙に反対する声が強いという事情もあるの。様々な人の考え方が認められるようになるべきだという考え方やたばこ税の減収などの理由で屋内禁煙に賛成しない人もいるよね。

(大輝) そうかあ。色々な考え方があって難しい問題なんだね。

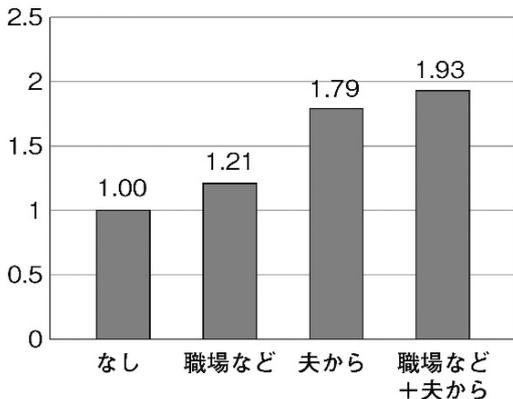
問1 この会話の話題は何ですか。最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 歩きタバコ禁止条例について
- ② 屋外の喫煙場所の設置義務について
- ③ 受動喫煙の影響とその対策について
- ④ 駅の喫煙場所の移動について

問2 母親の話に**関係しない**資料はどれですか。最も適当なものを、①～④のうちから一つ選びなさい。

①

夫の受動喫煙と家庭以外での受動喫煙とたばこを吸わない女性の肺腺がんリスク



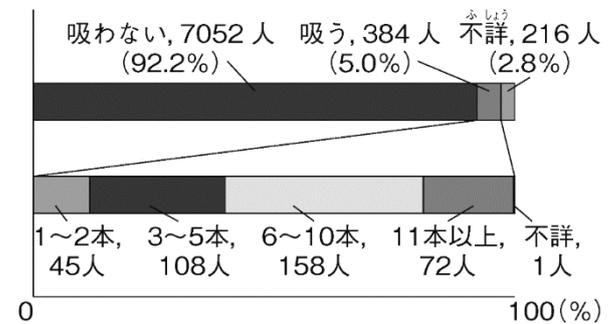
(受動喫煙の組み合わせ)

国立がん研究センターによる「多目的コホート研究」HP「受動喫煙とたばこを吸わない女性の肺がんとの関連について」より

②

妊娠中の母親の喫煙状況

※下グラフ数字は1日に吸うたばこの本数と該当者数



厚生労働省「乳幼児身体発育調査」(2010年) (<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/73-22.html>) を元にして作成

③

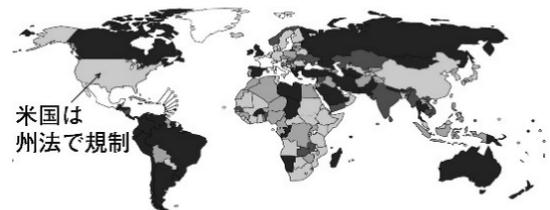
受動喫煙による年間死亡数

肺がん	2,480人
虚血性心疾患	4,460人
脳卒中	8,010人
計	約1万5,000人

厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業 分担研究報告書「受動喫煙と肺がんについての包括的評価および受動喫煙起因死亡数の推計」(2015年) (<https://mhlw-grants.niph.go.jp/niph/search/NIDD00.do?resrchNum=201508017A>) を元にして作成

④

公共の場所のすべてを屋内全面禁煙とする法律を施行している国 (2014年時点)



米国は州法で規制

下記の8つの公共の場所のうち、
 ■ 8施設すべてに屋内全面禁煙義務の国の法律がある
 ■ 6～7施設に屋内全面禁煙義務の国の法律がある
 ■ 3～5施設に屋内全面禁煙義務の国の法律がある
 ■ 0～2施設に屋内全面禁煙義務の国の法律がある
 □ データがない等の理由により分類不能

※)公共の場所とは、①医療施設 ②大学以外の学校 ③大学 ④行政機関 ⑤事業所 ⑥飲食店 ⑦バー ⑧公共交通機関の8施設が該当。
 ※)国レベルでの法規制が対象。米国や欧州等においては、別途、州法等で規制している場合もある。

厚生労働省「受動喫煙防止対策の現状について」(2016年) (<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000110146.html>)、WHO「WHO report on the global tobacco epidemic 2015」を元にして作成

問3 親子の会話からわかる、改正健康増進法の問題点として最も適当なものを、①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 原則屋内禁煙でも、小さな飲食店では喫煙スペースを作れば喫煙でき、その割合が飲食店全体の半数以上になってしまう点。
- ② 原則屋内禁煙でも、路上喫煙は可能なため、屋内で吸えなければ外でタバコを吸うだけで、結果的に喫煙する人が増えてしまう点。
- ③ 原則屋内禁煙は、大規模な飲食店しか適用にならないため、小規模の飲食店では全面的に喫煙ができてしまう点。
- ④ 原則屋内禁煙とするが、強制ではなく任意のため、飲食店の半数以上はそれを守らず屋内で喫煙ができてしまう点。

問4 親子の会話からわかる、屋内禁煙に反対する声強い理由として**適当でない**ものを、①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 路上も屋内も禁煙にしたら、喫煙者の自由が奪^{うば}われてしまうから。
- ② 喫煙する人が減り、たばこ税の収入が減ってしまうから。
- ③ 喫煙する人の考え方も認めるべきだと考える人がいるから。
- ④ 屋内を全面禁煙にしたら、飲食店の売り上げが落ちるかもしれないから。

問5 次の【資料】は、オリンピック開催地^{かいさい}の喫煙規制についてまとめたものです。日本（厚生労働省の改正健康増進法）が入る場所を、①～④のうちから一つ選びなさい。

【資料】 オリンピック開催地の受動喫煙対策^{ひかく}の比較（一部）

	①	②	③	④
小・中・高等学校	敷地内禁煙 (一部喫煙室の設置可)	敷地内禁煙 (一部喫煙室の設置可)	屋内禁煙 (喫煙室の設置不可)	敷地内禁煙 (一部喫煙室の設置可)
病院	敷地内禁煙 (一部喫煙室の設置可)	敷地内禁煙 (一部喫煙室の設置可)	屋内禁煙 (喫煙室の設置不可)	屋内禁煙 (喫煙室の設置不可)
飲食店、ホテル (客室を除く) など	屋内禁煙 (喫煙室の設置不可)	原則屋内禁煙 (喫煙室の設置可)	屋内禁煙 (喫煙室の設置不可)	原則屋内禁煙 [※] (喫煙室の設置可)

※バー、スナック等は喫煙室が無くても喫煙可。

厚生労働省「健康増進法の一部を改正する法律案（平成30年3月9日閣議決定）概要」「健康増進法の一部を改正する法律案の参考資料」(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000189195.html>)、厚生労働省「受動喫煙防止対策の強化について（基本的な考え方の案）」(<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000153190.html>) を元にして作成

<正解>

問 1 : ③

問 2 : ②

問 3 : ①

問 4 : ④

問 5 : ②

3. 次の資料を読んで後の問いに答えなさい。

【記事1】

少子化が進む中、18歳を成人とする民法改正案が今国会で審議されることになった。改正案が成立すれば、18、19歳も一人で携帯電話や各種ローンなどの契約を交わせるようになる。一方、親の同意なく契約した場合に原則取り消すことができる規定は、18歳以上は適用されなくなる。

また、政府はA 今回の改正案に、結婚できる年齢の変更も盛り込んだ。現行の「男性18歳、女性16歳」を「男女とも18歳」に統一する。

引き下げでB 新たに成人になる18、19歳には「消費者」としての自覚が必要になる。国民生活センターによると、消費者被害は現在、成人になる20歳を境に急増する傾向がある。2016年度の相談件数は20～22歳が8388件（1歳あたりの平均）で、18～19歳の4825件（同）の2倍近い。業者も、親の同意が無ければ契約の取り消しが可能な未成年者には、営業をかけにくい背景があるという。全国消費生活相談員協会の増田悦子理事長は「引き下げで被害が高校生に広がってしまうのでは」と心配する。

（朝日新聞 2018年3月14日より作成）

【図表】

成人年齢の引き下げに伴う変化は…… (法務省への取材などで作成)

内容	改正前	改正後
携帯電話や車の購入（契約行為）を1人でできる	20歳以上	18歳以上
親の同意なくローンを組める		
民事裁判を1人で起こせる		
性別変更の申し立てができる		
公認会計士や司法書士の資格が取れる		
10年有効の旅券を取得できる	20歳以上	変わらず
養子をとることができる		
飲酒・喫煙		
馬券、車券、舟券の購入	20歳未満	検討中
少年法の適用		
普通自動車免許の取得	18歳以上	変わらず
結婚年齢	男性18歳 女性16歳	男女とも18歳

朝日新聞 2018年3月13日をもとに作成

【記事2】

成人年齢を20歳から18歳に引き下げる民法改正案に、結婚できる年齢（^{こんいん}婚姻適齢）を男女とも「18歳以上」に統一する規定が盛り込まれていることが分かった。

現行民法は婚姻適齢を男性18歳以上、女性16歳以上と規定。さらに未成年者の場合は親の同意が必要となる。国際的には男女同一が^{いっばんてき}一般的だが、日本では女性の方が心身の発達が早いなどの理由で低く設定されている。

しかし女性の高校進学率が^{ひやくてきの}飛躍的に伸び、16、17歳での結婚が減少したことなど社会的な背景が変わり、男性と区別する合理的な理由がないとの^{してき}指摘が出ていた。

さらに、現行制度のまま成人年齢を18歳に引き下げた場合、女性だけ成人年齢と婚姻適齢が^{いっち}一致せず、親の同意が必要なケースが残ることになる。こうした観点から、今回の民法改正と同時に婚姻適齢を18歳に統一するのが適当と判断した。

（産経ニュース電子版 2017年2月3日 共同通信配信 より作成）

問1 現行の民法下では18歳には許されないが、今回の改正案が成立すると18歳から許されるようになることとして適当なものを、①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① ビールやワインなどのお酒を飲むこと。
- ② 同じ年齢の相手と結婚すること。
- ③ 自分だけで携帯電話の契約をすること。
- ④ 普通自動車の免許を取ること。

問2 下線部A「今回の改正案に、結婚できる年齢の変更も盛り込んだ。現行の『男性18歳、女性16歳』を『男女とも18歳』に統一する」とあるが、なぜ結婚できる年齢を18歳に統一するのですか。【記事2】を読んで、結婚年齢を変更する理由として**適当でない**ものを、①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 16歳、17歳で結婚する女性が減ったから。
- ② 女性の高校進学率が^{きわ}極めて高くなったから。
- ③ 女性の方が男性より心身の発達が早いから。
- ④ 女性だけ成人年齢と婚姻適齢が一致しないと不都合なことになるから

問3 【記事1】では、国民生活センターに寄せられた消費者被害の相談件数の分布から、どのようなことを推察していますか。最も適当なものを、①～④のうちから一つ選びなさい。

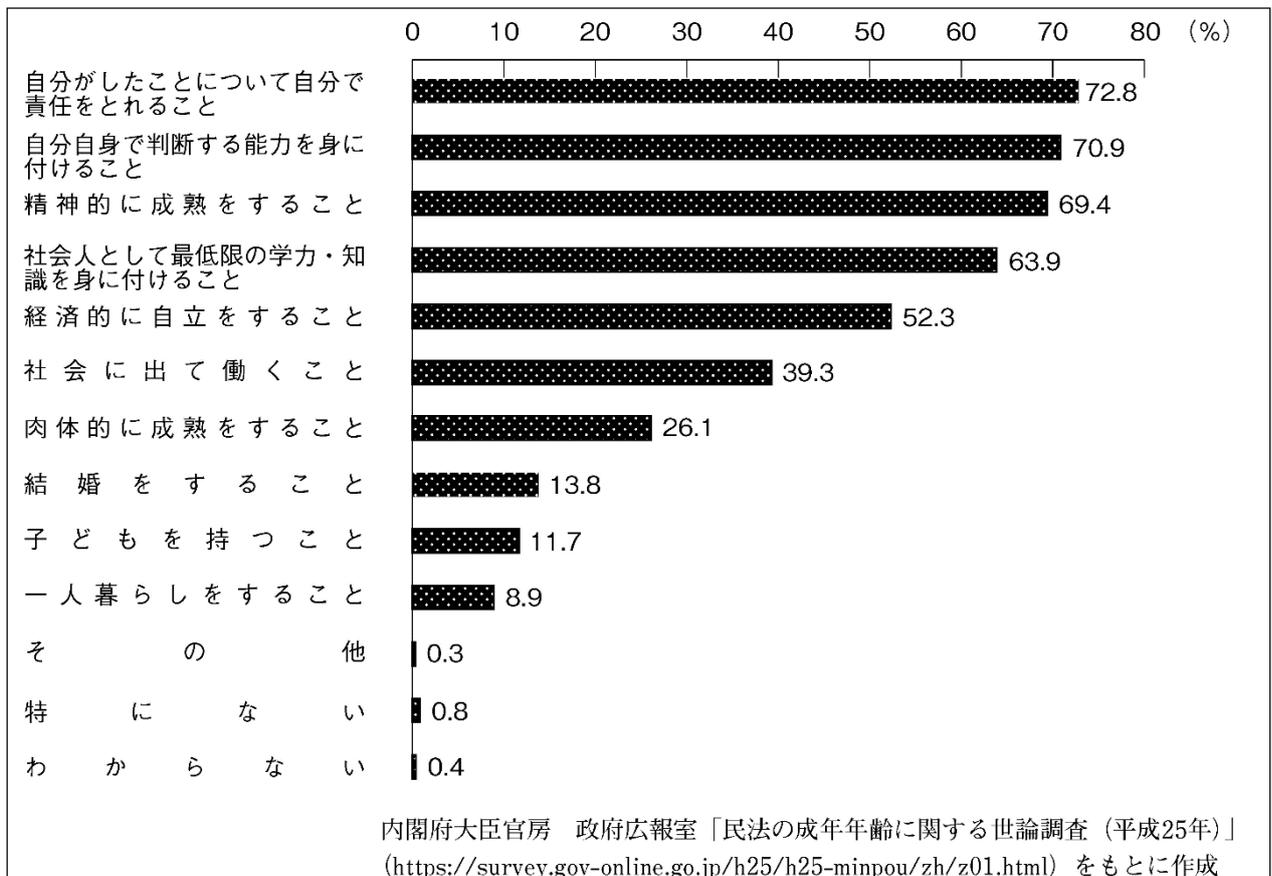
- ① 消費者被害がしだいに低年齢層へと拡大している。
- ② 未成年であることが消費者被害の抑止力となっている。
- ③ 未成年者は消費者被害に遭った際の対応能力が低い。
- ④ 成人になると経済力が高まるため消費者被害が増加する。

問4 下線部B「新たに成人になる18、19歳には『消費者』としての自覚が必要になる」とあるが、どのような心構えが必要になりますか。以下の【図】の内容もふまえて、空欄Aに当てはまる内容を30字程度で書きなさい。

成人になると、18歳でも一人で契約ができる一方で、親の同意がないというだけでは契約の取り消しが困難になるので、Aという心構えが必要になる。

【図】 子どもが大人になるための条件

(複数回答)



※全国の18歳以上の日本国籍を有する者5000人に、子どもが大人になるためにはどのような条件が必要であるかを探った結果による。

<正解>

問1 : ③

問2 : ③

問3 : ②

問4 :

(正答例)

「自分自身でものごとを判断し、自分がしたことについて自分で責任をとる」33字

(正答の条件)

- ・成人になると一人でも契約ができる一方で、未成年保護のための規定（親の同意なく契約した場合は原則取り消すことができる）が適用されなくなることを踏まえ、自分自身で物事を判断し、自分がしたことには自分で責任を取るという心構えが必要となることを捉えられている。
- ・【】の内容をふまえて記述できている。